

| 科目コード    | ナンバリング          | 単位数 | 学期 | 授業区分  | 科目区分                          | 履修区分                          | 配当学年                          |
|----------|-----------------|-----|----|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 350006   | X-21-B-2-350006 |     |    | 【1・2年次生】国際学部国際文化学科<br>【3年次生以上】国際学部国際文化学科<br>【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース<br>【1・3年次生】経営情報学部経営学科<br>【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科<br>【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース<br>【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース | 専門<br>専門<br>専門<br>×<br>×<br>× | 選択<br>選択<br>選択<br>×<br>×<br>× | 1年<br>1年<br>1年<br>×<br>×<br>× |
| 授業科目     | 担当教員            | 2   | 後期 |   |                               |                               |                               |
| 現代ヨーロッパ論 | 臼井 陽一郎          |     |    |   |                               |                               |                               |

#### 授業目的

- \* ヨーロッパ統合の来し方・行く末について熟考する。
- \* ヨーロッパ国際社会の政治的特徴について理解する。
- \* 現代ヨーロッパを第1期と第2期に分け、ヨーロッパ統合の視点からその質的相違について考察を深める。
- \* ヨーロッパ各国政治に共通に見られる諸課題（格差、差別、極右、テロ）について、ヨーロッパ統合の視点から議論する。

#### 各回の授業内容

|   |  |
|---|--|
| 第1回   | 第9回  |
| 【授】 ヨーロッパの外からヨーロッパについて考える。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読んでおくこと。4時間相当の学習。                   | 【授】 1989年。ベルリンの壁崩壊からドイツ統一へ。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。 |
| 第2回   | 第10回   |
| 【授】 現代ヨーロッパの歴史区分。ドイツ問題の視点から。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。     | 【授】 EU 欧州連合の形成、東欧革命の諸相。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。     |
| 第3回   | 第11回   |
| 【授】 ヨーロッパの政治理念、キリスト教民主主義と社会民主主義。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。 | 【授】 ユーゴ内戦、そしてウクライナの今。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。       |
| 第4回   | 第12回   |
| 【授】 ヨーロッパの国際組織① CoE<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。              | 【授】 ヨーロッパの実存的危機① ユーロ危機。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。     |
| 第5回   | 第13回   |
| 【授】 ヨーロッパの国際組織② NATO<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。             | 【授】 ヨーロッパの実存的危機② 難民危機。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。      |
| 第6回   | 第14回   |
| 【授】 ヨーロッパの国際組織③ OSCE<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。             | 【授】 ヨーロッパの実存的危機③ ポビュリズム。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。    |
| 第7回   | 第15回   |
| 【授】 第二次世界大戦後ヨーロッパの建設。統合への道。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。      | 【授】 授業のまとめ。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。                 |
| 第8回   | 第16回   |
| 【授】 東方外交からヘルシンキプロセスへ。<br>【前・後】 指定参考書の該当ページを読み、授業で指示した点を調べておくこと。4時間相当の学習。            | 【授】 定期レポート提出   |

#### 成績評価方法

学期末レポート・30%+毎回の授業要約コメント400字課題(授業時間中に提出)・70%  
なお、毎回のコメントカードおよび学期末レポートについて、適宜、講評する。

#### 教科書・参考書

網谷龍介・成廣孝・伊藤武編著『ヨーロッパのデモクラシー』ナカニシヤ出版  
マーク・マゾワ『暗黒の大陸:ヨーロッパの20世紀』未来社  
トニー・ジャット『ヨーロッパ戦後史』(上・下)みすず書房  
遠藤乾『欧州複合危機 - 苦悶するEU、揺れる世界』中央公論新社。

#### 受講に当たっての留意事項

関連科目にEU論・地域統合論・国際法・国際組織論がある。事前にもしくは平行して受講するようにしてほしい。

|                            |                |                                     |
|----------------------------|----------------|-------------------------------------|
| 実務経験のある<br>教員による授業<br>科目有無 | 実務経験と授業科目との関連性 | アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施 |
| ×                          |                | ×                                   |

#### 学習到達目標

- \* ヨーロッパ統合の歴史的な意義と現代的な課題について、自らの認識をたえず新たにしていく自分なりの接近法を手に入れること。
- \* 現代ヨーロッパの動向に東アジアの今にも通底する政治の課題を見いだす批判的思考に習熟すること。
- \* 特定地域の国際政治の歴史を学習しつつ現在の動向を追うにあたって、実績の光と失敗の影の双方に目を配り、両者を鋭く対比させる認識方法を獲得すること。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習